



医療情報

電子カルテと一体化

国立呉医療センター

システム全面刷新

【広島】国立病院機構 呉医療センター（広島県 呉市、上池渉院長、0823・22・3111）は、富士通のサポートで医療情報システムを全面刷新した。高セキュリティシステムの採用で従来、別々に運用していた電子カルテと外部接続の情報端末を一体化した。機器の設置スペースを6割削減できる。新システムは診療データを管理する電子カルテシステムと、外部に接続し情報収集するインターネット情報系システムのアプリケーションソフトウェアをすべてクラウドソフトをすべてクラウドソフト仮想化した。アプリケーションや重要データをできる限り手元に蓄積しないシンクライアント方式と、ユーザが一度認証を受けるだけで許可される機能を利用できるシングルサインオンを採用。これらによってデータと情報の両システムを1台の端末で病院のどの場所からでも利用できるようになった。

【広島】国立病院機構 呉医療センター（広島県 呉市、上池渉院長、0823・22・3111）は、富士通のサポートで医療情報システムを全面刷新した。高セキュリティシステムの採用で従来、別々に運用していた電子カルテと外部接続の情報端末を一体化した。機器の設置スペースを6割削減できる。新システムは診療データを管理する電子カルテシステムと、外部に接続し情報収集するインターネット情報系システムのアプリケーションソフトウェアをすべてクラウドソフトをすべてクラウドソフト仮想化した。アプリケーションや重要データをできる限り手元に蓄積しないシンクライアント方式と、ユーザが一度認証を受けるだけで許可される機能を利用できるシングルサインオンを採用。これらによってデータと情報の両システムを1台の端末で病院のどの場所からでも利用できるようになった。